



北海道大学

研究データエコシステム北海道 コンソーシアムへのお誘い

研究データエコシステム
北海道コンソーシアム
設立シンポジウム

2025/8/28

棟朝 雅晴

北海道大学 副理事(情報・DX)
情報基盤センター長・教授

研究データ管理に係る現状と課題

- 各研究者に対して、これまでの研究データの保存義務(10年)に加えて、研究データ管理プラン(DMP)の策定が義務化(競争的資金の提供条件)
- 本質的には、得られた研究データを最大限活用することが求められるが、(オープンデータ・オープンサイエンス)一方で各研究者の負担が増大
- 大学等の研究機関においては、研究データ管理ポリシーや各種のガイドラインの策定、データストレージなどのシステム基盤を各研究者に提供することが期待されるが、システム構築・運用予算、人材確保など課題が山積



- [illegible]



「GakuNin RDM」

をど利用ください。

☆GakuNin RDMの特徴

- 研究データセンター、研究グループ、研究内容の研究データ管理ポータルにひとたきできます。
- 研究データ管理に必要となる「研究データの証跡管理」を有し、協働の典拠で研究のデータ管理プラットフォーム (Data Management Plan, DMP) に利用できます。
- 研究データのWebや文書指定で検索・閲覧できます。
- 研究データについて100%の管理資料で表示するほか、研究情報センター・データセンター・IR (機関) を検索したりして関連したデータがわかります。

ここでは「実証実験」を「研究」してGakuNin RDMで「データ」を管理する様子です。

(研究) 実証実験の成果、メタデータの登録、プロジェクト管理 (研究管理) 画面

<https://rdm.nsl.ac.jp>





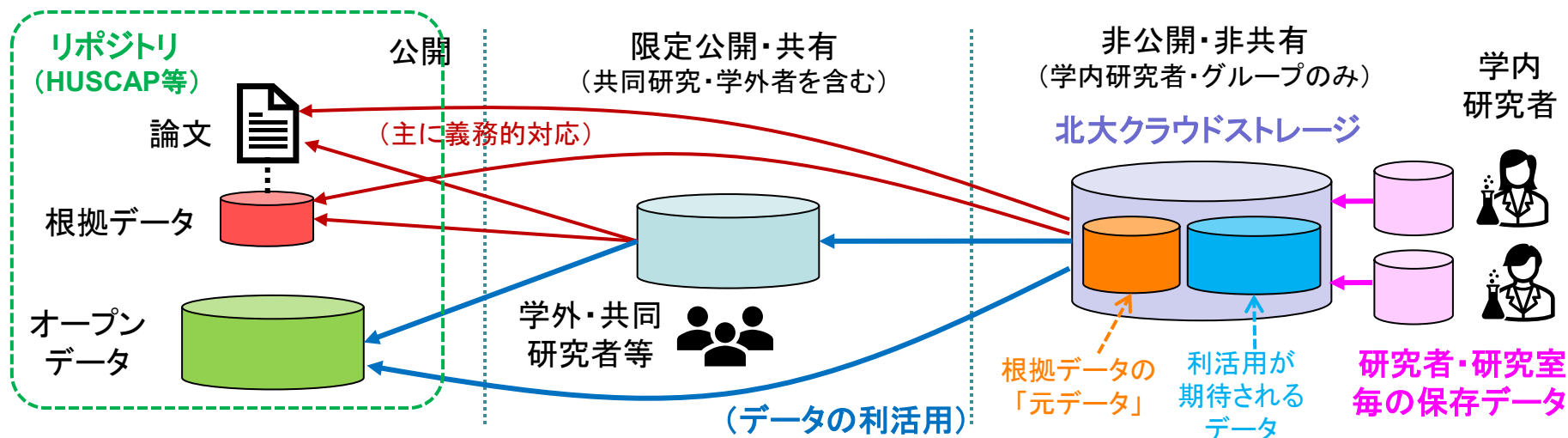
大東文化大学: GakuNin RDM/OP © 2016/10/14/2017 © 2018 大東文化大学で開発、これにて利用できます。

※ 注意: 以下GakuNin RDMポータルページと本資料とを比べ、
<https://support.rdm.nsl.ac.jp>



各研究者において求められること

- 研究公正のための**10年間の研究データ保存義務**
- 競争的資金獲得時における**データマネジメントプラン**の策定
 - 研究データへ**メタデータ**を付与し、保存・共有・公開
 - 論文公表時の**根拠データの公開義務** → **HUSCAP(ストレージ拡充済)**等で公開
- オープンサイエンスへの対応(**オープンデータ**)・研究データの共有・利活用
 - 北大共有ストレージ(J-PEAKSでR7.11に整備予定)には(容量の制約があるため)
論文の根拠データの元データ、利活用が期待されるデータを優先して保存いただきたい



コンソーシアム設立の背景・目的

研究データ管理スタートアップ支援事業

- 全国的な研究データ基盤の構築と、その活用に係る環境整備を進めることを目的とする(国立情報学研究所等)

中核機関群：司令塔機能を果たし、各拠点大学と連携し相談等に対応する

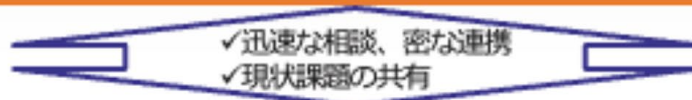
NII

理化学研究所

東京大学

名古屋大学

大阪大学



各地域におけるコミュニティ：核となる拠点大学が支援機関としてリード

- 全国に、拠点大学を作って中核機関群が支援し、各拠点大学が地域の多様な大学・研究機関を支援

- 潜在需要が想定される大学も含め、コミュニティを広げていく

2024年度開始予定：

- ・中国四国地区（広島大学）
- ・九州地区（九州大学）

2025年度開始予定：

- ・北海道地区（北海道大学）
- ・東北地区（東北大学）

2023年度開始済：

- ・東海地区（名古屋大学）
- ・北陸地区（金沢大学）

2023年度活動（抜粋）

- ・コンソーシアム設立
- ・セミナー開催
- ・支援チームの派遣
 - * データポリシー策定
 - * セミナー講師派遣
 - * 学内アンケートの実施・分析



(コンソーシアムHP)

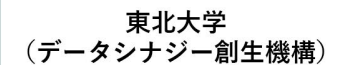
会員組織

【令和7年8月21日現在】

正会員



準会員



参加条件・会費・手続きについて

参加条件

正会員

- 北海道地区の国公立大学、高等専門学校、公的研究機関その他の学術研究機関

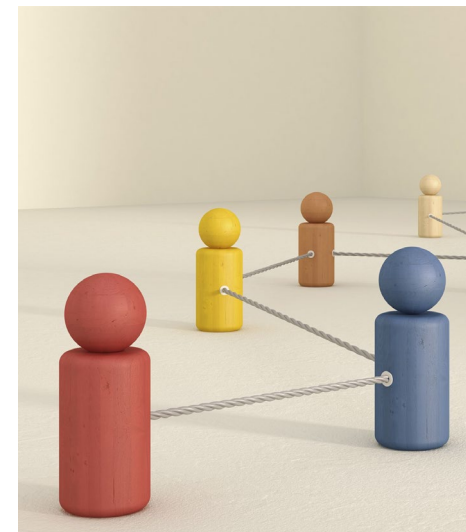
準会員

- 正会員の機関に属する部署や北海道地区以外の国公立大学、高等専門学校、公的研究機関その他の学術研究機関及びこれらの機関に属する部署

会費：無料(当面の間)

参加手続き

- 入会申込書をコンソーシアム事務局へ提出ください
研究データエコシステム北海道コンソーシアム事務局
[rdm-hokkaido\(at\)ml.hokudai.ac.jp](mailto:rdm-hokkaido(at)ml.hokudai.ac.jp)



主な活動内容

研究データ管理ポリシー・ガイドライン策定支援

効果的な研究データ管理のために必要となる、各大学における研究データ管理ポリシーならびにガイドラインの策定を支援します。

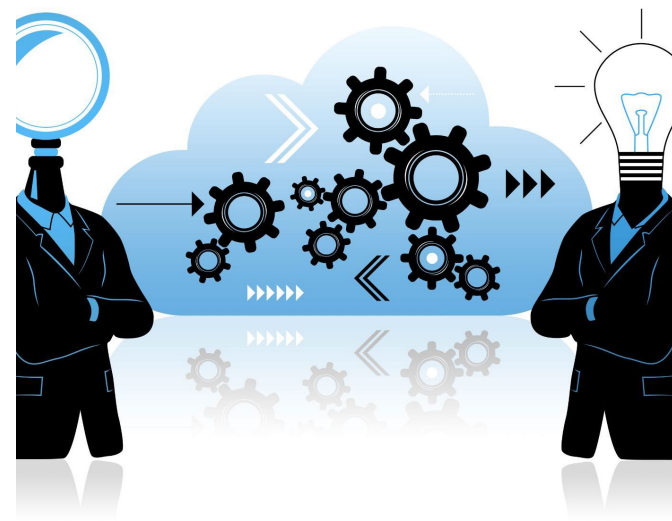
研究データ管理システム構築支援

研究データストレージや学認RDMとの連携などの研究データ管理・システムを構築・運用するために必要となる技術について助言・支援します。

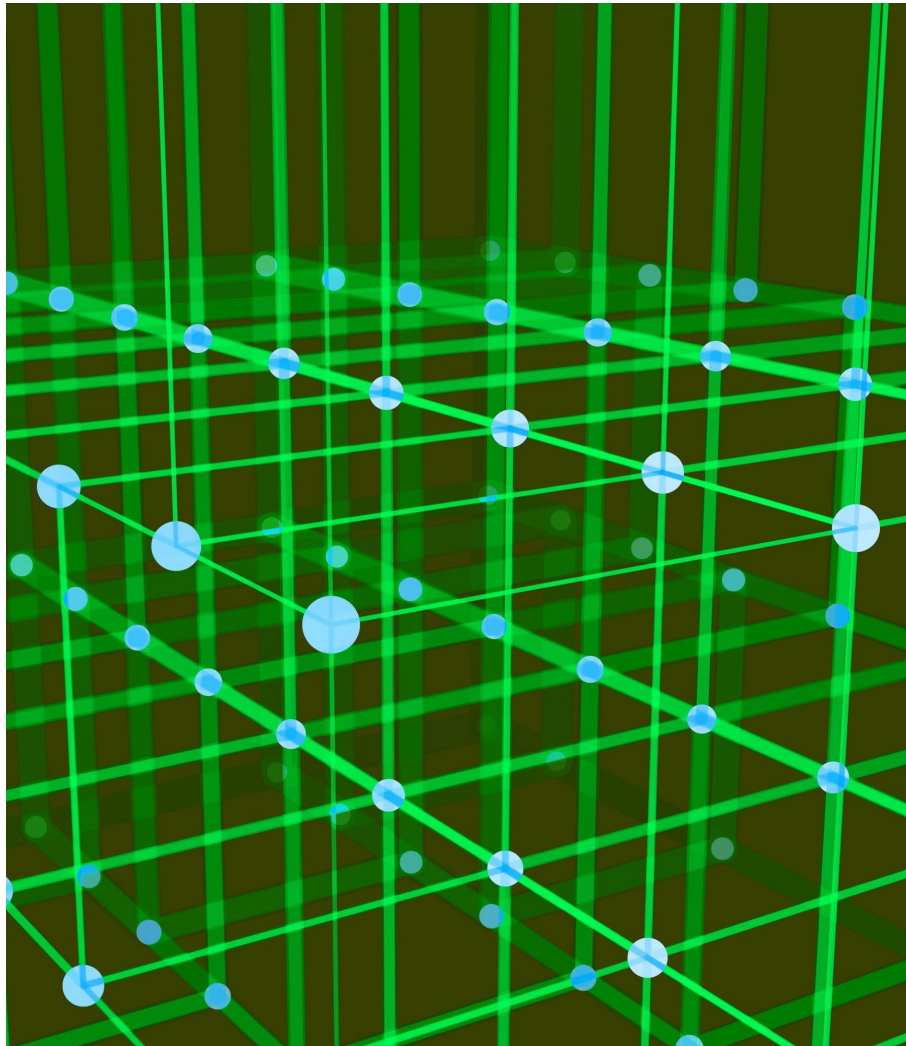
シンポジウム・セミナー等の開催

専門的な知識を共有する場として、シンポジウムやセミナーを開催し、研究データ管理に必要な基盤システム、人材、教材などに関する知見を共有し、参加者のスキルアップを促します。

■ R7年度は研究データポリシー策定、DMP策定支援等のセミナーを予定



期待される効果



- 研究機関・研究者として求められる研究データ管理を着実に推進(最低限の要求要件)
- 各研究者の研究データ管理・データの利活用に関するスキルアップ(セミナー・研修等)
- データ駆動型研究の推進・データを鍵とした共同研究の推進(産学・国際・分野横断)
- AIを活用した研究開発の推進(のための必須要件)



まとめとご案内

- 研究データエコシステム北海道コンソーシアムを立ち上げ、北海道地区を中心とした研究データ管理に関する各種の支援活動を開始しました。
- ポリシー・ガイドライン策定・システム整備・研修等を支援します。

多くの機関の参加をお待ちしています！



<https://www.lib.hokudai.ac.jp/consortium/>



北海道大学